

大学院硬組織疾患制御再建学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	口腔領域の軟部腫瘍、特に脂肪性・血管性腫瘍の多様性を探る
研究代表者・研究責任者	松本歯科大学大学院硬組織疾患制御再建学講座 長谷川 博雅
研究責任者	(朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 永山 元彦)
共同研究施設 (研究責任者)	(愛知学院大学歯学部 口腔病理学講座 前田 初彦)
研究期間	2019年11月1日～2023年3月31日
研究の目的・概要	軟部腫瘍の病理診断精度の向上を図ることを目的として、遭遇する機会が多い脂肪性腫瘍と血管性腫瘍について免疫組織学的・分子病理学的に多施設の既存試料を再検討し、組織型の多彩性を研究します。 本研究によって診断の正確性が向上し、有益な医療情報が患者様に提供されます。その結果、良質な医療の提供に繋がります。
利用又は他機関に提供する情報	1984年1月1日から2019年9月30日で松本歯科大学病院、朝日大学歯学部附属病院および愛知学院歯学部附属病院で手術を受け、脂肪腫あるいは血管腫と診断された方の以下の試料・情報を利用します。 試料：未染色標本 情報：性別、年齢、診断名、発生部位、腫瘍径
試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供する場合はその方法を含む)	脂肪腫や血管腫と診断された症例の再評価を行うために試料を利用します。保存されたパラフィン包埋試料から未染色切片を作成して染色し、顕微鏡で脂肪腫や血管腫の亜型の可能性をスクリーニングします。その結果、特別な亜型が予想される試料については、その診断に必要な免疫染色、あるいは融合遺伝子検査を行います。また臨床病理学的な解析を行うために性別、年齢、診断名、発生部位、腫瘍径などの情報を利用し、口腔外の症例との比較検討を行います。
試料・情報を利用する者の範囲	・口腔病理学講座・助教 嶋田勝光 ・口腔病理学講座・准教授 村上 聡 ・硬組織疾患制御再建学講座・教授 長谷川博雅
問い合わせ先	受診された各医療機関の大学の担当者にご連絡ください。 ・松本歯科大学大学院 硬組織疾患制御再建学講座 長谷川 博雅 電話 0263-51-2092 ・朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 永山 元彦 電話 058-329-142705 ・愛知学院大学歯学部 口腔病理学講座 前田 初彦 電話 052-757-6736